

ASEAN+3外相会議議長声明（骨子）
（2015年8月6日）

- 東アジアビジョングループ（EAVG）Ⅱのフォローアップに関する最終報告書を本年11月の首脳会議に提出することを期待。
- 東アジア地域包括的経済連携（RCEP）の交渉の進展を歓迎し、参加国が今年末までの大筋合意を目標に作業の強化を要請。
- 2015年の「ASEAN+3マクロ経済調査事務局（AMRO）設立協定」発効に向けて、各国が国内手続を完了させるため最大限努力することを確認。
- 2016年に「ASEAN+3観光協力に関する覚書」を署名することを期待。
- ASEAN+3緊急備蓄米（APTERR）協定等の進展を評価。官民連携パートナーシップを通じたフードバリューチェーン構築の重要性、科学的根拠に基づき、鯨類を含む水産資源の持続可能な利用の重要性を評価。
- ASEAN連結性マスタープラン実施の進展を歓迎。ポスト2015の連結性課題の作成を期待。ASEAN連結性の課題を前進させる上で、資金の動員が重要な要素となることに留意しつつ、この地域のインフラ資金需要に対処する上で、中国によるアジアインフラ投資銀行設立に向けた進展及び日本による質の高いインフラパートナーシップの進展を歓迎。
- 中ASEANセンター、日ASEANセンター、及び韓ASEANセンターの果たす役割と貢献を評価。
- 朝鮮半島の最近の動向に懸念を表明し、この地域における平和、安定、安全の重要性を強調。北朝鮮による最近の弾道ミサイル発射に対して深い懸念を表明。朝鮮半島における信頼醸成に向けた活動の重要性、全ての関連する国連安保理決議の完全な履行及び2005年9月19日の六者会合共同声明の全ての当事者によるコミットメントへの遵守の必要性を強調。平和的な方法による朝鮮半島の完全かつ検証可能な非核化に向け、六者会合の早期再開のために必要な条件を作り出すことを要請。
(了)